



令和7年7月18日
四国地方整備局

令和7年度 第2回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果について

令和7年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会を令和7年6月16日に開催し、令和6年度の総合評価落札方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、令和6年度の総合評価落札方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価落札方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・総合評価における参加者の加算点獲得率は下がっているが、落札者の加算点落札率は高い水準にあるため企業評価・技術者評価の割合が高く、技術提案の評価結果の影響を受けにくいこととなっている可能性があるため注視して検討してもらいたい。
- ・業務についても近年価格競争より総合評価、プロポーザル方式の割合が高くなっており望ましい傾向であると考える。
- ・個別工事の評価結果については、異議無し。

本局小委員会の概要

1. 日時：令和7年6月16日（月）10：00～12：00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館13階災害対策室
3. 出席委員：奥嶋委員、木下委員、山中委員、渡邊委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 開催結果の概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 TEL：(087)851-8061(代表)

【企画部（全般）】	技術管理課長	矢野 慎二	(内線3311)
	工事窓口：技術管理課長補佐	関 英智	(内線3314)
	業務窓口：技術管理課長補佐	宮田 晃	(内線3313)
【港湾空港部】	品質確保室長	浅川 圭一	(内線6413)

日時：令和7年6月16日（月）10:00～12:00

場所：高松サンポート合同庁舎北館13階 災害対策室

令和7年度 第2回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

議 事 次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- 1) 令和6年度までの総合評価落札方式による契約結果等について ……資料－1

3. 審議事項

- 1) 令和6・7年度の適用工事・業務（本官契約）について ……資料－2

2) 具体事例について

- ・ 令和6－8年度 窪川佐賀道路荷稻トンネル工事 ……資料－3

- ・ 令和6－7年度 高松港湾合同庁舎機械設備改修（2）工事 ……資料－4

- ・ 松山港外港地区岸壁（－13m）築造工事（その2） ……資料－5

4. 閉 会

令和7年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会

開催結果の概要

日時：令和7年6月16日（月） 10:00～12:00

場所：高松サンポート合同庁舎北館13階災害対策室

出席委員 徳島大学大学院 教授 奥嶋 政嗣
 愛媛大学大学院 教授 木下 尚樹
 香川大学 教授 山中 稔
 Bond University 教授 渡邊 法美

I 報告事項

令和6・7年度までの総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価落札方式）及び業務等（総合評価落札方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、令和6・7年度の総合評価落札方式による工事75件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、令和7年度の総合評価落札方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等32件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】 令和6・7年度対象工事

本官（本局）契約工事（R7.3.31基準日）

	開札済み	手続き中	準備中	合計
技術提案評価型（S型）3テーマ	0件	0件	0件	0件
技術提案評価型（S型）2テーマ	5件	2件	8件	15件
技術提案評価型（S型）1テーマ	14件	1件	9件	24件
施工能力評価型（I型）	11件	4件	0件	15件
施工能力評価型（II型）	10件	3件	8件	21件
技術提案・交渉方式（ECI）	0件	0件	0件	0件
合計	40件	10件	25件	75件

【業務関係】 令和7年度対象業務等

本官（本局）契約業務R7.5.31基準日）

		特定・開札済	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	11	4		15
	総合評価落札方式	16			16
役務	企画競争方式	1			1
	総合評価落札方式				0
合計		28	4	0	32

III 主な意見の概要

- ・総合評価における参加者の加算点獲得率は下がっているが、落札者の加算点落札率は高い水準にあるため企業評価・技術者評価の割合が高く、技術提案の評価結果の影響を受けにくいこととなっている可能性があるため注視して検討してもらいたい。
- ・業務について、近年価格競争より総合評価、プロポーザル方式の割合が高くなっており望ましい傾向であると考えます。
- ・個別工事の評価結果については、異議無し。